

廣島文理科  
大學教授

文學博士久保良英著

菊判洋綴紙數三百頁  
定價金二圓八十錢

送斜廿一錢

新刊

# 兒童の精神構造と指導

本書は心理學上より兒童の精神構造を科學的に解剖し、體係を立てて以て兒童教養の根本義を確立せるものである。兒童の教養は次期の國家の消長を決するものであるが、特に現今我國は非常の時局に立ち何事にも國民總和の力を以て當るべきの秋である。著者はこれに大に感ずる所あつて、世の教育家父兄の爲に特に本書を著したのだ。先生は我邦心理學界の泰斗で、本書は其深奥なる學問と豊富なる經驗との完全なる融合である。左に其大綱を擧ぐれば……一幼兒の精神構造 二玩具の選び方 三言語と文字の交友についての注意 五問題の子供の導き方 六家庭に於ける知育 七美の情操陶冶 八道徳教育 九宗教教育……一般教育家は勿論一般識者の必讀を望む。

東京高等師範學校教授

文學博士

小野島右左雄著

# 心理學要説

菊判紙數四百頁  
定價金二圓十五錢  
送料十二錢

教育の基礎となる  
新しい心理學説

文檢要書

心理學の問題は嘗ての機械説より生氣説、準機械説等幾變遷を経てゐるが、體制に於て重大なる進歩と新らしい分野の開拓とを意味するものである。之は人間科學の諸領域に當つて著者は本書に於て單なる紹介や學説の羅列をさげ、専ら見方を教へ考へる時論を説き見透しを與へようとしてゐる。しかして全卷を通じて一貫するに其獨特の論を以てし、傍諸家の説にふれ一方其内省よりして東洋思想の色彩も又濃厚である。教育者特に此の心理學の成果に基づいて叙説しようとする試みたること本書の卷頭に述べられてゐるが、此の意味に於て又一般知識人の必讀を俟つものである。

振替電話  
東京三三三  
八三三  
四二五  
七二番

店書館文中

發行所  
東京市牛込區  
一丁目七番

新刊

日本の旗 日の丸の旗

倉橋惣三作詞  
小松耕輔作曲 戸倉ハル振付

色刷表紙四六倍判音譜及び振付  
説明  
定價 送料共一冊 金參拾錢  
前金(振替或は參錢郵券)を添へ  
冊數及び送先き明記申込次第直  
に送本す

此の時局、幼兒兒童に何を唱はせませうか。どんな遊戯をさせませうか。本會は、今日此の新しい唱歌と遊戯とを全國の幼兒兒童の前に贈り得ることを最も欣快とするのであります。願はくは、皆さまのお力添へを俟つて、幼稚園に、學校に、家庭に、街頭に、津々浦々に、此の唱歌遊戯の流布を見るに至り得んことを。之れが本會の遠慮のない望みであります。

尙、此の刊行によつて得た金額は、實費を除いて悉く國防費に獻金致したのであります。此の趣旨にも御共鳴下さつて、一冊でも多くお購求下さい。又廣くお勧め下さい。一冊の御購買は即ち同時に國防獻金となるのであります。若し各幼稚園が此の意味に基いて、取りまどめて御注文下さるようのことまで願へるものなら、此の上ない幸であります。そのために表紙も美しい色刷りの家庭向きにして置きました。右本會の二つの希望を御協賛願ひます。

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町三十五  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
振替口座東京一七二六六番

# 幼児に適する手技を募る

株式会社フレーベル館創業三拾周年記念  
保育研究資金による懸賞募集第二回

## 募集規定

- 一 應募作品は幼児に適する手技たること。
- 一 主題、内容、材料は隨意。
- 一 幼稚園、託児所保母諸君の考案自作品たること。(必ず製作の説明及び工作圖を添へること)
- 一 應募點數任意。
- 一 荷造に注意して送付されたし。
- 一 應募者は宿所、氏名(誌上匿名隨意)及び奉職園の名稱、所在地を明記のこと。
- 一 日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内)手技募集掛宛のこと。
- 一 締切 昭和十二年十一月末日
- 一 發表 昭和十三年二月十五日本會發行の「幼児の教育」誌上。入選作品は本誌に掲載し、賞状及賞金を贈呈します。
- 一 フレーベル賞
  - 一 等一名 金貳拾圓 二等二名 金拾五圓 三等三名 金拾圓 選外佳作五名(賞品贈呈)
  - 一 審査 (五十音順)
    - 朝原 梅一氏 及川 ふみ氏 岸邊 福雄氏
    - 倉橋 惣三氏 田島 眞治氏 山形 寛氏
    - 和田 實氏
- 一 作品は一切返却しません。
- 一 尙御不明の點は往復はがきで本會手技募集掛宛お問合せ下さい。

## フレーベル賞に就て(再録)

此の度、株式会社フレーベル館社長高市次郎氏より、同館創業三十周年の記念として、左記の通り、保育研究資金を全國保育界に對して提供せられ、その適切なる使途につき本會に委託せられました。我國保育界のために誠に欣慶事であります。就ては、本會はその資金を保管致すと共に、特に實行委員諸氏を御依頼し御協議を願ひました結果、先づ第一案として、保育上切要なる研究課題を設け、全國幼稚園並に託児所の保母諸君の御應募を乞ひ、此の資金を以て其の賞に當つることになりました。その課題は順次に各方面に互ることとし、その方面毎に權威ある審査員諸氏の嚴正なる審査を経て贈呈し、その賞をフレーベル賞と名づけることも御相談ありました。

## 一金壹千五百圓也 保育研究資金

昭和十二年四月十二日

株式会社フレーベル館 社長 高市次郎

右御披露と共に、全國保育界諸賢が奮つて此の計畫に御賛同御援助下さるやう切に願ひいたします。

昭和十二年四月二十一日

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

## 日本幼稚園協會

實行委員 (五十音順)

- 青柳 美智代氏 朝原 梅一氏 及川 ふみ氏
- 兼 信 學氏 岸邊 福雄氏 菊池 ふじの氏
- 倉橋 惣三氏 新庄 よしこ氏 高崎 能樹氏
- 田島 眞治氏 土川 五郎氏 和田 實氏